

令和4年度

「松葉スタンダード」—^{がくしゅう}学習の^{こころ}心がまえ—

授 業 中	①いすのすわり方 ^{かた}	・机 ^{つくえ} と胸 ^{むね} の間 ^{あいだ} を拳 ^{こぶし} 一つ分 ^{ひとぶん} 空 ^あ け、深 ^{ふか} く腰 ^{こし} か ^か ける。
	②ノートのと ^{かた} り方	・ノート ^つ の使 ^か い方 ^{かた} を守 ^{まも} り、ていねい ^か に書 ^か く。 ・自分 ^{じぶん} や友 ^{とも} 達 ^{だち} の考 ^{かん} え、感 ^{かん} 想 ^{そう} な ^か ども書 ^か く。
	③発 ^は 表 ^っ の仕 ^し 方 ^{かた}	・名 ^な 前 ^{まえ} を呼 ^よ ばれたら、はっきり返 ^{へん} 事 ^じ をし、立 ^た っ ^て 発 ^は 表 ^っ する。
	④聞 ^き き方 ^{かた}	・相 ^あ 手 ^て の顔 ^{かお} を見 ^み て、最 ^{さい} 後 ^ご ま ^ま で聞 ^き く。
	⑤話 ^は し方 ^{かた}	・場 ^ば に合 ^あ わせた声 ^{こゑ} の大 ^{おお} きさ ^さ で、はっきり話 ^は す。

家 庭 で	・家 ^{いえ} の ^{ひと} 人 ^{ひと} に手 ^て 紙 ^{がみ} を渡 ^{わた} す。
	・忘 ^{わす} れ物 ^{もの} のな ^な いよ ^う に時 ^じ 間 ^{かん} 割 ^{わり} 、連 ^{れん} 絡 ^{らく} 帳 ^{ちょう} を見 ^み なが ^ら 準 ^{じゆん} 備 ^び する。
	・家 ^か 庭 ^{てい} 学 ^{がく} 習 ^{しゅう} を ^{おこな} 行 ^う う。(学 ^{がく} 年 ^{ねん} ×10分 ^{ふん} 以上) ・えんぴつ ^{えんぴつ} を ^け け ^ず る。
	ドリル ^{がくしゅう} 学 ^{がく} 習 ^{しゅう} 、読 ^{どく} 書 ^{しょ} 、日 ^に 記 ^き 、新 ^{しん} 聞 ^{ぶん} の関 ^{かん} 心 ^{しん} あ ^る 記 ^き 事 ^じ に目 ^め を ^{とお} 通 ^と す…等 ^{など} の自 ^じ 主 ^{しゅ} 学 ^{がく} 習 ^{しゅう} 。